

## 受験先が決定！！

夏休みの期間中に3年生の就職・進学の実験先がほぼ決定しました。これから就職においては、履歴書書き、学科試験・適性検査の対策、面接練習と進んでいきます。また、進学においては、オープンキャンパス、進学補習や志望理由書を始めとする願書作成、小論文

対策を行っていきます。3年生の皆さんは、準備を怠りなく、しっかり取り組んでいってください。

求人数は昨年度比12.3%増となりました。今年度の求人の特徴は、昨年に続き、同一企業から複数の職種の求人があったこと、就職進学<sup>\*1</sup>の求人があったことです。コロナ禍が落ち着きを見せる中、今年度の高卒求人の動向は不透明な部分がありましたが、近年続く売り手市場の流れが継続した形となりました。また、給与面の待遇を改善する企業が多くあったことも特徴です。

高卒入社でも4年後には大卒と給与は同じという企業もあるなど、企業側の高卒新人を求める傾向は強まっていると感じています。特に、1、2年の皆さんは先輩から話を聞いてみる、学校行事（企業見学、企業説明会、進路説明会など）に積極的に参加するなど、今のうちから情報を集めておくことを心がけましょう。

\*1 就職先入社と同時に、仕事のために学校にも通う。そのため、両方の試験を受ける。ただし、通学のための費用（入学金、授業料や遠方の場合の入寮費）は全て企業が負担し、さらに給料も支払われる。夏休み中や卒業後はその企業で働く。自動車製造会社にある学校は、就職となる。

9月16日（土）から就職選考開始となります。3年生の就職希望者は悔いの残らないように、受験対策を行いましょ。受験する企業の学科試験や適性検査をまとめてみました。自分が受ける企業の試験や適性検査を今一度確認してください。1、2年生の皆さんも関心をもってこのリストをみてください。

○学科試験（適性検査とセットになっているものもあります）

一般常識、教科の試験（国、数など）、SPI 2・3（3はWEBで実施）、SHL（SPIに近い）

○適性検査

GATB、クレペリン、YG検査、パーソナリティー、運動機能（握力、指先）

○作文（題名やテーマが決まっている場合もあります）

例：就職したらやってみたいこと 高校時代に頑張ったこと

進路志望状況（令和5年8月24日現在）

科	在籍数	就 職				自営 その他	進 学			
		県内	県外	公務員等	計		大 学	短大 高専	各 種	計
M	30	18	1	2	21		2		7	9
A	36	17	7	2	26		3	1	6	10
E	30	17	8		25		3		2	5
S	22	7	1	1	7	1	7		5	12
計	118	59	17	5	79	1	15	1	20	36
%		72.2	21.5	6.3	66.9	2.5	41.7	2.8	55.5	30.5

求人企業数・求人数（令和5年8月4日時点）

		県 内	県 外	合 計
今年度	求人数	468人	1418人	1886人
	企業数	263社	826社	1089社
昨年度 (8/5)	求人数	423人	1255人	1678人
	企業数	247社	735社	982社

就職試験では、学科試験より面接を重視する企業が多くあります。志望動機や自己PRをしっかりと話すことができるようになってください。面接については、特に、コミュニケーション力を見られます。大きな声で、はきはきと受け答えができるように練習しましょう。一方で、学科試験を疎かにしていいということではありません。受験内容すべてについて、対策を行いましょ。

【3年生向け補習の実施】 SP I (8/29~9/2) クレペリン (9/4) GATB (9/5)

## ジャムの法則

参考資料 doda (データ)、ジイウーム、TECK STOCK MAGAZINE

マーケティングの世界に『ジャムの法則（決定回避の法則）』という法則があります。人間はたくさんの選択肢があるときは決定を先送りにしたり、避けたりする傾向があるという心理学の法則です。これはマーケティングの世界だけでなく、進路選択においても起こることです。最初に書きましたが、今年度も多くの企業から求人をいただきました。いきなり1,000社を超える企業と全国に4,000校近くある大学・短大・専門学校などの進学先から進路を選ぶことはとても難しいことです。

実際に求人票を見てみると、様々な業種（事業の種類）や職種（仕事の種類）が存在することがわかります。上記のように、多くの企業の中から就職先を決めるのは難しいものですが、業種や職種で絞っていくと少しは選択がしやすくなるものです。特に1、2年生の皆さんは、まず就職と進学の2択。就職ならば業種と職種、進学ならば学びたい内容（取りたい資格）で選択。多くの選択肢から一度に選択するのではなく、選択の回数を増やすことで、選択肢を減らしていくことが進路決定への近道だと思います。適切な時期に適切な選択をしてほしいと考えています。

ここでは、就職向けに3つの職種例を挙げてみます。今後のために、その違いを知りどんな作業があるか考えてみてください。

### 例1 オペレータ、保全、生産技術

- オペレータ ラインまたはライン外で、機械の操作（オペレーション）を行う。決まった作業を就業時間内で繰り返して行う。一定期間で部署替えがある職場もある。
- 保全 ラインやライン外の生産設備を保守・点検する。簡単な故障はオペレータが行うが、複雑な場合は保全が行う。定期点検でチェックし、故障したら修理する。
- 生産技術 安全に効率よく低コストで生産するために、工程を見直したり、新しい設備の導入を検討する。ラインの課題を見つけ、原因を調査し改善する。

### 例2 建設業の施工、施工管理、設計

- 施工 現場で実際に作業を行う仕事。現場には、様々な職種の人（大工、左官工、鉄筋工、電気工事、設備工事、内装工事など）がいる。
- 施工管理 現場監督として工事が効率的かつ安全にできるよう、全体の管理をする。工程管理。品質管理、原価管理、安全管理などを行う。
- 建築設計 建築基準法に基づき、建物を設計・計算し、図面を書く。建築士の資格がいる。

### 例3 システムエンジニア、カスタマエンジニア

- システムエンジニア コンピュータシステムの構築や、アプリケーション開発を行う。システムの設計、開発、テストなどを行う。
- カスタマエンジニア 顧客（カスタマ）の困り事の相談やシステムの使い方、トラブルが生じた時などに、迅速に対応する。システムの保守、点検、修理を行う。客先に常駐したり、依頼があった場合に対応したりする。

世の中には様々な職種がありますが、業種によっても異なってきます。例えば、病院では、医師、看護師、レントゲン技師、事務職、警備職など多くの業種・職種の方たちが働いています。希望の企業からその会社について調べ、さらに作業内容を見て、どんな職種があるか考えてみてください。